

技術開発現場の課題解決に使える ロジカルシンキング力 (論理的思考力)強化セミナー

～課題の本質を見極めて解決策を解き明かす力を鍛える～

本セミナーでは、先行き不透明な時代の中で複雑な課題を解決する基礎となるロジカルシンキングの力を習得します。
研究開発・技術開発の現場でもすぐに実践できて、技術課題や業務課題を効果的に解決できる思考力を習得します。

開催日時 2024年 7月 3日(水)
2024年 10月 29日(火) 各回とも
2025年 1月 22日(水) 10:00～17:00

会場 日本能率協会 研修室
(東京都 港区 芝公園)

対象 ・自分の考えや収集した情報をスッキリ整理したい方
・思い込みや固定観念に気づいて柔軟に思考できるようになりたい方
・研究開発や技術開発に行き詰まっている状況を打開したい方
・論理的な思考力(ロジカルシンキング)を強化したい方

参加料(税込) 法人会員： 55,000円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
会員外： 66,000円/1名 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。

講師 日比 慶一氏
株式会社ディアレスト・パートナー 代表取締役
事業構想大学院大学 特任教授



東京大学工学部電気工学科卒業。
得意分野は思考系のスキルとビジネス系、データサイエンス領域
であり、技術と掛け合わせてビジネス現場で実践できるスキルを伝えている。難しい
内容を誰にでもわかりやすく伝える研修と、分野の垣根を超えた引き出しの豊富さは、
受講者の好評を得ている。
【著書(共著)】映像情報メディア学会編「デジタルメディア規格ガイドブック」オーム社
大久保 隆修・川島 正久 監修、MCR編「H.323/MPEG-4教科書」IEインスティテュート
丹康雄 監修、宅内情報通信放送高度化フォーラム編「ユビキタス技術 ホームネットワーク
と情報家電」オーム社

ねらい

科学・工学の分野は論理で成り立っており、研究者・技術者は論理的な考え方が身に付いているはず。しかし一方で、豊富な知識や経験が固定観念・一般常識として逆効果となり、正しい問題解決や柔軟な発想ができていないことも多くあります。

本セミナーでは、最も重要な基礎スキルと言われているロジカルシンキングを基本から徹底して学び、技術開発や業務での問題解決で実践できる力を習得します。技術者に身近な事例やケース課題を用いて演習やワークを行い、自分の考え方の偏りや思い込みに気づいて、適切に課題解決できるための正しく考える力を学びます。

特長

- ・ツールやフレームワークを使うだけではなく基礎となる考え方の本質を理解します。
- ・分類の指針であるMECE(漏れなくダブリなく)を上手に使うことで思考の幅を広げます。
- ・論理的に構造化して思考を進めることで見えていなかったことに気づけます。
- ・演習やワークを取り入れて、理論と実践の両面から思考力を強化できます。
- ・研究者・技術者の業務を題材にした事例やケーススタディを用いるため、身近に感じられて業務ですぐに実践できます。

参加者の声

- ・オンラインでしたが演習やワークが多く、具体的に実践する方法を学べました。
- ・事例やケースの題材が身近に感じられて、興味を持って取り組むことができました。
- ・職場でも思考停止がキーワードになり、お互いに注意するようにしています。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 はじめに

- ・セミナーの目的・ゴール設定
- ・アイスブレイク

グループ演習

2 ロジカルシンキングとは

- ・ロジカルシンキングが求められている理由
- ・基本の確認、思考力チェック
- ・ロジカルシンキングの定義と効果
- ・技術・研究開発におけるロジカルシンキングの効用

個人演習

3 ロジカルシンキングのツールと手法

- ・ロジカルシンキングのツール
- ・MECE(漏れなくダブリなく)に分類する
- ・ピラミッドストラクチャーで研究結果を整理する
- ・ロジックツリーで技術課題を分解する

個人演習

個人演習

個人演習

4 ロジカルシンキングを使った課題解決

- ・課題解決の2段階：開発課題の設定と解決策の発見
- ・論点(イシュー)と結論(メッセージ)の関係

- ・ロジックツリーで技術課題の本質を探る
- ・解決手段を探索するロジックツリー

グループ演習

グループ演習

5 情報の収集・整理とロジカルシンキング

- ・仮説を設定して開発テーマを決める
- ・ピラミッドストラクチャーで実験結果から課題発見

グループ演習

グループ演習

- ・仮説検証のための実験計画を考える
- ・ロジカルシンキングで技術開発を進めるポイント

6 総合演習

- ・技術開発の遅れを課題解決するケーススタディ
- ・思考力を高める学習法のヒント

グループ演習

7 まとめと振り返り

- ・セミナーのまとめと振り返り、質疑応答

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

